

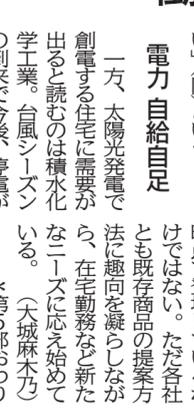


たまご焼き
焼き上がり
フロ級
品工業所

回住宅

在宅勤務で変わる需要

「ニューノーマル(新常态)に挑む」
第5部



働きやすい環境提案

電力自給自足
一方、太陽光発電で
創電する住宅に需要が
出ると読むのは積水化
学工業。台風シーズン
の到来で今後、停電が

大賞
2019年モノづくり部品大賞
超超超液体水素適合バルブ
17000部製造
第1回・第5回・第7回 日刊工業新聞
2016年 春の感動 旭日栄光 受賞
2017年 読者の声 受賞 電子部品
第32回 読者の声 受賞 電子部品
2014年 読者の声 受賞 電子部品
2017年 読者の声 受賞 電子部品
2019年 読者の声 受賞 電子部品
2011年 読者の声 受賞 電子部品
1984年 読者の声 受賞 電子部品
1982年 読者の声 受賞 電子部品



製造現場とIT橋渡し

アイキューブデジタルは、IoTやAIなどを活用し、製造現場向け事業を展開。

防音対策

変革2020

新型コロナウイルス
感染拡大によって、最も
大きな変化に迫られた
のは働き方だ。緊急
事態宣言発令後の4月
中旬に経団連が実施し
た調査では、97.8%
(有効回答406社)
の企業がテレワークや
在宅勤務を導入してい
ると回答した。宣言解
除後も、第2波への懸
念が残る中、在宅勤務
は一定程度、定着する
とみられている。住宅
関連企業は、この流れ
に対応し、仕事がいま
自宅でも動かしやすいよ

押入れ活用

「新しい日常」は、住
宅に対する需要も大き
く変えかねない。まっ
たく新しい商品が、現
時点で登場しているわ
けではない。ただ各社
法に趣向を凝らしなが
ら、在宅勤務など新た
なニーズに応え始めて
いる。(大城麻木乃)

産業春秋

新型コロナウイルスと納税型だ。寄付金
の影響で2月下旬から
中断しているJリーグ
が27日に再開。同日に
J2とJ3、7月4日に
J1の試合が開催され
る。ファンにとっ
ては、待ちわびた
コロナ禍での「甦
り」の瞬間とありたい。強
いものは、無観客
試合や入場者数の制限
が強いられるため、ク
ラフ収入の激減が避け
られない。そこで各ク
ラブは、観客席用パネ
ルの販売や試合動画で
の投げ銭制度を始め
るなど、あの手この手
で金策を講じている。選
手たちのプレイング
スタイルも、コロナ時
代に合わせた変化が
起きている。新しい
ビジネスモデルを模索
するクラブも少なく
ない。鹿島アントラー
ズは、茨城県鹿嶋市と
間の知恵を使った競争
の協力による「ふるさ
とも」にも注目してい

新メッキライン稼働

中日クラフトは、愛知の本社
工場に新メッキラインを稼働。
外注品を内製化、納期短縮。

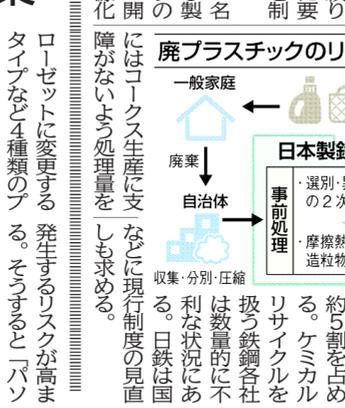


100kWクラス開発も視野

日鉄、プラ再資源化2割増

高密度化技術確立へ

日本製鉄は、コークス
を再資源化する。製鉄の還元
剤であるコークスを作る
必要がある。開発する
コークス炉に、粒状
の廃プラスチックを投入
し、減容成形機で狭
い口からより良く絞り
出す技術と、それに要
する摩擦熱の温度を制
御する技術の二つ。
日鉄は、高尾、君津、
古河、八幡、大分の製
鉄所・地区で廃プラの
処理をすすめている。全
国5拠点で処理量を高
くを処理しており、全
自治体の回収量の約3
割に投入可能な品。再
資源化事業を展開
中。廃プラの再資源化



「コロナ関連記事」23:34:6

8:11・13・15・20・30・31面

東ガス、燃料電池商用化

コンビニなど
小規模施設向け
発電効率65%



東ガス、燃料電池商用化

東京ガスは発電効率65%と業界最高水準の高効率の固体酸化物形
燃料電池(SOFC)を2020年代前半に商用化する。出力は5
kWで、コンビニや商業店舗、事務所など小規模施設向けの電源を
想定。電気料金の節約や二酸化炭素(CO2)排出削減が可能なほ
か、災害時の停電でも自立運転して発電を継続できる点を訴求
する。将来は50kW・100kW級の中大型の開発も視野に入れる。

Tモバイル株売却

ソフトバンクグループ
(SBC)は23日、
持分法適用会社である
米携帯大手Tモバイル
株の約24%を持つ。売
却対象株数は最大約
1億9831万株で、
現保有分の3分の2程
度に当たる。株式はT
モバイルが買い取り、
米国内でほかの投資家
などに売却される。S
BCは16日にTモバイル
株売却の検討を始め
たと公表していた。
SBCは新型コロナウイルス
の影響で、ベンチャー企
業などへの投資を手が
け、赤字に陥った。

大規模災害時のID発行について

大規模自然災害で
印刷所からの新聞輸
送に支障が生じた際
は、月ごとの購読者
に限り電子版が一時
的に無料になります。
ウェブサイトに
bs://www.nikkan.
co.jpからお入り
ください。
日刊工業新聞社

明日のしあわせを化学する
東ソー株式会社
TOSOH

日刊工業新聞

THE NIKKAN
KOGYO SHIMBUN
6月24日(水曜日)
2020年(令和2年)

TODAY

- 06 トヨタ、部品値下げ見送り
上期/部品メーカー経営考慮
- 09 2Dデータ、素早く立体化
クリエイティブマシン
- 11 外資系IT、テレワーク継続
ソーシャルディスタンス徹底
- 13 医薬品の包装漏れ自動検出
フクダ、全数検査装置
- 15 日通、企業間輸送拡大
パレット一体型器材を活用
- 30 信頼性確保・コロナ対策
政府「AI戦略」に新項目

インタビュー

- 03 経団連事務総長・久保田政一氏
- 30 岩手大学学長・小川智氏
- 08 船舶の自律航行を再現

西日本食品産業創造展

日刊工業新聞社は「第31回西日本食品産業創造展'21」の開催を募集します。本展示会は、食品産業に関する最新技術・サービスの提案や新たな取引先開拓を目指したマッチングの場を創出するものです。(15面に詳細)
日刊工業新聞社
www.nikkan.co.jp

働機型改革

innami
HATARAKI KATA
KAIKAKU

innami
株式会社印南製作所 〒120.0047 東京都足立区宮城1-12-22 TEL:03.3912.2976 印南製作所 で検索

スマホでWEBをチェック!